

古賀先生 追悼 つくばセミナー

「情報通信技術（ICT）研究開発の最前線と地域連携 イベント 209」

日時 場所

3月26日（月）14：00－18：00 NICT つくばリサーチセンター

来場者

50名以上の方々にお越しいただきました。

ネット配信

JGN2内へのDV配信、一般へのインターネット配信を行いました。

●東北RCからの配信（WMVのみ、Realはデータ収集不可）

セッション数の総数：64（同一受信者再接続を含む）

最大同時セッション数：15

平均セッション数：約10

●九州RCからの配信（WMV）

セッション数の総数：140（同一受信者再接続を含む）

最大同時セッション数：18

平均セッション数：約15

デモ

JGN2プロジェクト拠点研究成果の一部を、デモ展示しました。

趣旨と利用の概要

世界を代表する航空宇宙工学の大家である古賀先生が、新しい分野が面白そうなので、と情報通信技術の分野に関わっていただいたことは、我々にとって何よりの幸であった。つくば地域には多くの研究機関・組織が存在しているが、今日のように情報通信技術との連携・提携研究が進み、多くの研究者が新しい分野・異なる分野へと挑戦し、盛んな研究活動が行われているのは、古賀先生のあたたかいお人柄とご指導の賜物以外のなにものでもない。さらに、これらの連携・提携活動はつくば地域に止まらず、つくばと日本全国をつなぐ研究活動へと発展している。今回、つくば以外の地で情報通信技術に関わる方々から、古賀先生への御礼として、つくばにおいて追悼セミナーを開催した。

当日は50人を越える方が会場にお越しいただき、JGN2を経由してセミナーの模様を中継した他、インターネットでの中継も行いました。中継は特に大きなトラブルもなく行う事ができました。



(当日の会場の模様 つくばRC)

プログラム

14:00-14:05 開会挨拶

加藤 邦紘 NICT 理事

14:05-14:10 来賓挨拶

関口 智嗣 (産業技術総合研究所グリッド研究センター長)

【 第 1 部 】

14:10-15:10 ICT の新たな分野への挑戦

地球環境への情報通信技術の貢献

江崎 浩 大手町リサーチセンター長 (東京大学 教授)

ユニバーサル ICT を目指して(Delay Tolerant Network)

鶴 正人 九州リサーチセンター (九州工業大学 教授)

【 第 2 部 】

15:10-16:10 地域 ICT 支援とリサーチセンターの役割

東北地区における事例と実績

曾根 秀昭 東北リサーチセンター長 (東北大学 教授)

九州地区における事例と実績

広岡 淳二 九州リサーチセンター

(九州ヒューマンメディア創造センター ICT 推進室次長)

西田 真三 (九州リサーチセンター 特別研究員)

16:10-16:25 休憩

【 第 3 部 】

16:25-17:55 人にやさしい ICT に向かって

災害時の情報通信手段としての気球ワイヤレスアドホックネットワーク

柴田 義孝 東北リサーチセンター (岩手県立大学 教授)

データ駆動型ネットワークプロセッサを用いたサラウンドイング・コンピューティング環境

福本 昌弘 四国リサーチセンター長 (高知工科大学 助教授)

ユキビタスネットワークの拓く世界

下條 真司 大阪リサーチセンター長 (大阪大学 教授)

17:55-18:00 閉会挨拶

尾家 祐二 JGN2プロジェクト・総括責任者&研究推進部会長 (九州工業大学 教授)

司会 : 山崎 克之 九州リサーチセンター (長岡技術科学大学 教授)